

新聞作りこつ伝授

名護で出前講座

琉球新報記者による出前講座「おでかけりゅうPON!」が3日、名護市産業支援センターで行われ、国頭地区の小中学校PTA広報部員ら14人が参加した。北部支社の金城潤報道部長(右)の説明を熱心に聞く国頭地区のPTA広報部員ら3日、名護市産業支援センター



琉球新報北部支社の金城潤報道部長(右)の説明を熱心に聞く国頭地区のPTA広報部員ら3日、名護市産業支援センター



「おでかけりゅうPON!」が3日、名護市産業支援センターで行われ、国頭地区の小中学校PTA広報部員ら14人が参加した。北部支社の金城潤報道部長が講師を務めた。

「オンラインワンの紙面作り」読まれる広報紙を目指して」と題して記事の書き方や読みやすさを目指したレイアウト、見出しの付け方など新聞作りのこつを伝えた。

金城部長は「誰に何を伝えるのかを意識することが大切」と話し「見出しは、伝えたいキーワードを最小限の文字数で表現してほしい」とアドバイスした。

おでかけりゅうPON! 国頭地区PTA連合会の機関

高志会長は「学校独自の取り組みをうまく伝えられるよう、学んだことを広報紙作りに生かしてほしい」と期待を込めた。羽地中学校から参加した屋良綾子教諭(39)は「読ませるためにレイアウトでいろんな工夫があると知って驚いた」と話した。